

常尋
國語教科書

卷二

9
35

検定合格本

K120.8
87a
3

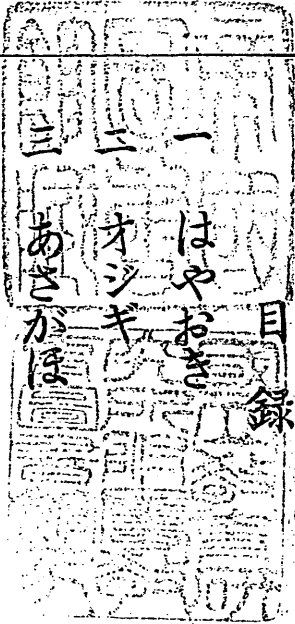
樋口勤次郎
野田瀧三郎
合著

尋常
國語教科書

卷二

東京

金港堂書籍株式會社



目録

- 一 はやおき
- 二 オシギ
- 三 あさかほ
- 四 そーぢ
- 五 キョーダイ
- 六 ガツコー
- 七 イクサゴト
- 八 しまーか
- 九 うらしまたろー
- 十 クダモノ
- 十一 かき
- 十二 もみぢ
- 十三 もり
- 十四 てんちよーせつ
- 十五 きみがよ
- 十六 キク
- 十七 いねかり
- 十八 いけ



- 十九 ユキダルマ
- 二十 にんぎょ
- 二十一 アマノイハト
- 二十二 しょがつ
- 二十三 タコ
- 二十四 うめ
- 二十五 きげんせつ
- 二十六 たはらとーだ
- 二十七 うぐひす

一 はやおき

やまのみね
 からあさひが
 のぼる
 ふもとのもりに
 とりがなく



ハワ

ニ オジギ

コノ コドモハ

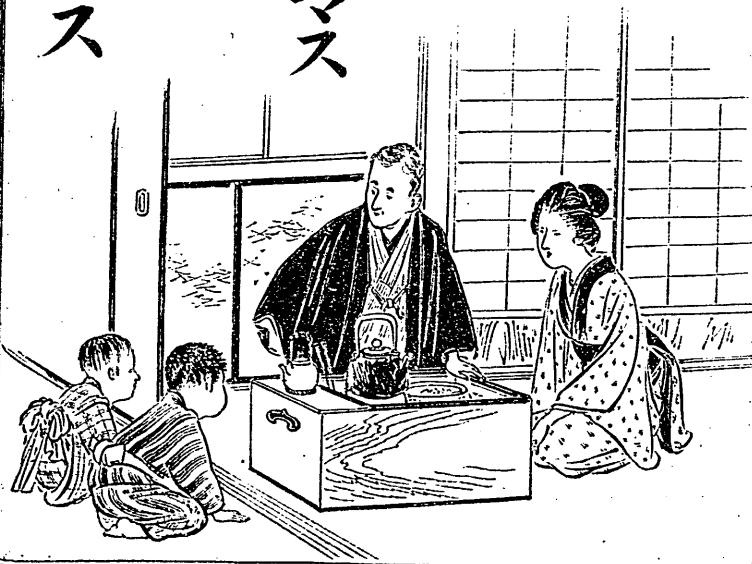
ハヤク オキテ

オジギヲ シテキマス

トトサマ カカサマ

オハヤウゴザイマス

ヤウ



がほ

三 あさがほ

るどにつるべ

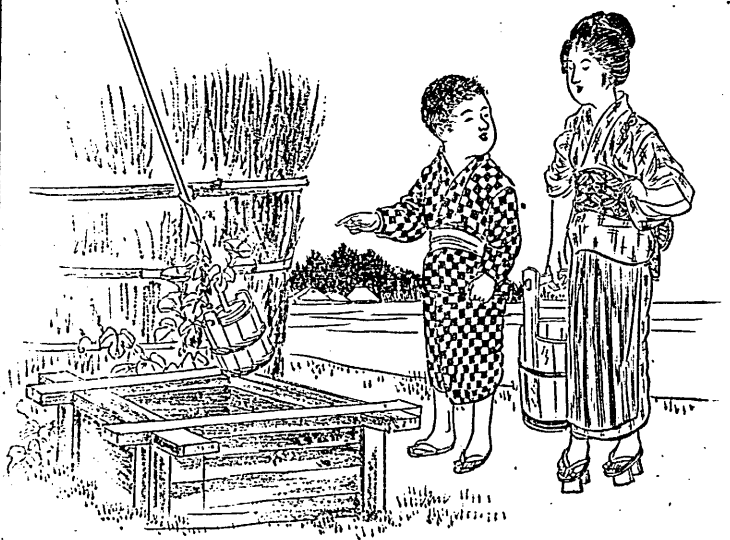
つるべにあさがほ

あさがほに

つるべとられて

もらひみつ

もらひ



はホ
ウリ

四 そーぢ

あねははうきで

ざしきをはき

いもうとは

ぞーきんで

がハ
ワ

えんがはをふく



セヨ
ウ

五 キョーダイ

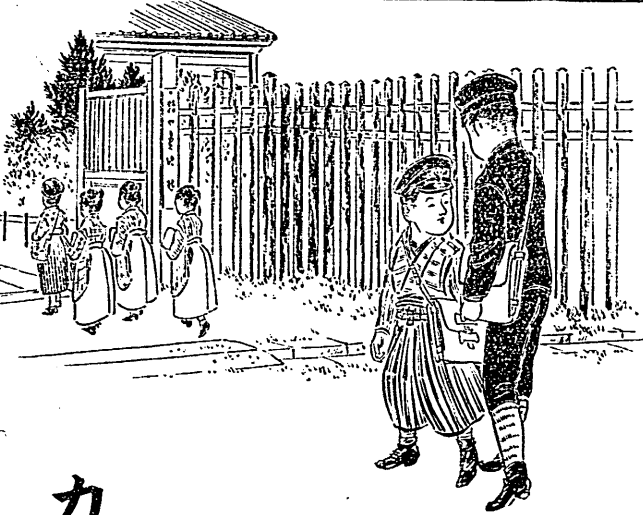
アニサンイソイデ

マキリマセウ

サーミナサンニ

オクレヌヨーニ

カケテユキマセウ



六 ガツコー

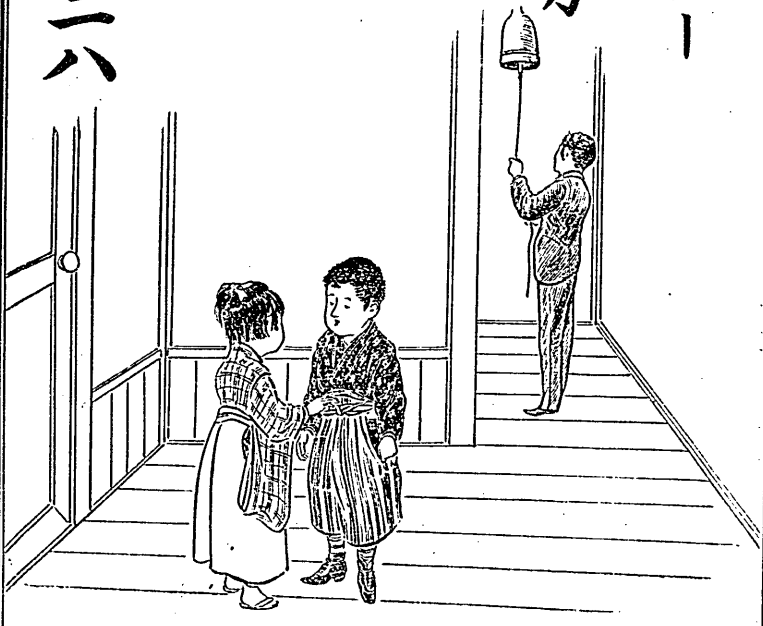
イマケイコガ

ハジマリマス

ハヤクマキリ

マセウ

コノジカンニハ



シユーシンノオハナシガアリ
マセウ

七 イクサゴト

ヲトコノコドモハイクサゴト

ヲシテキマス

アノヨーニ

子

こども

子ども

なかよくまはれ

こ糸をそろへて

あしをそろへて

九 うらしまたろー

へエ

かめにのつて

りゅーぐーへゆく

つりぎをかたげて

はこをあくれば

おやぢとなる

まあぶしぎ



人

十 クダモノ

アノ人ノサゲテ

キルカゴノ

ナカニハナニ

ガアリマス

カ



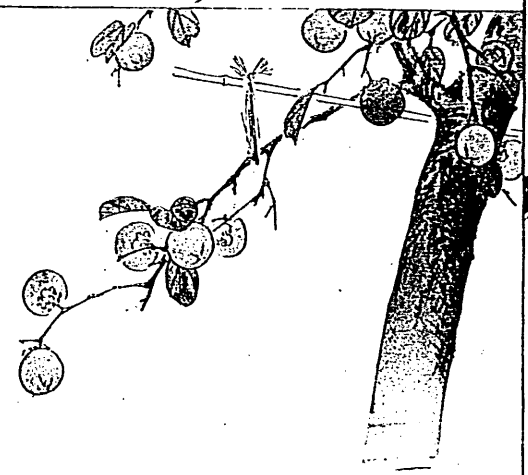
上

アノナカニハナシカキブド
 ナドノクダモノガイレテアリ
 マス

十一 かき

この上にあるかきはしぶ
 くはありませんか

下
ら
う



おもひ
ます

下のかきより上の
かきがあかいから
あまからうと



木

木のはが

十二 もみぢ

あかくなつて
はやしはもみぢ
のさかりに
なりました



こんどのやすみにはあの
はやしのなかであそびませ
う

十三 モリ

中
サーコノモリノ中デアソビ
マセウ

大
大ヘンツカレ
マシタモ
カヘリマセウカ
アニサンコノ
モミヂノウツクシ
イコト



一エダ ヲツテ アネサンヘオモ
ヤゲニ シマセウカ

十四 てんちよーせつ

天
天ちよーせつが だんく ちか
く なつて きました
天ちよーせつは

子。 日。
天子さまの
おうまれなされ
ためでたい日
あります
この日には
どこのいへでも



口 かど 口に 日のまるのはたを
たて ます

わたくし どもも 一しよに

しよーか を うたつて おいはひ

まうし ませう

十五 きみがよ

石

いはほ

きみがよは

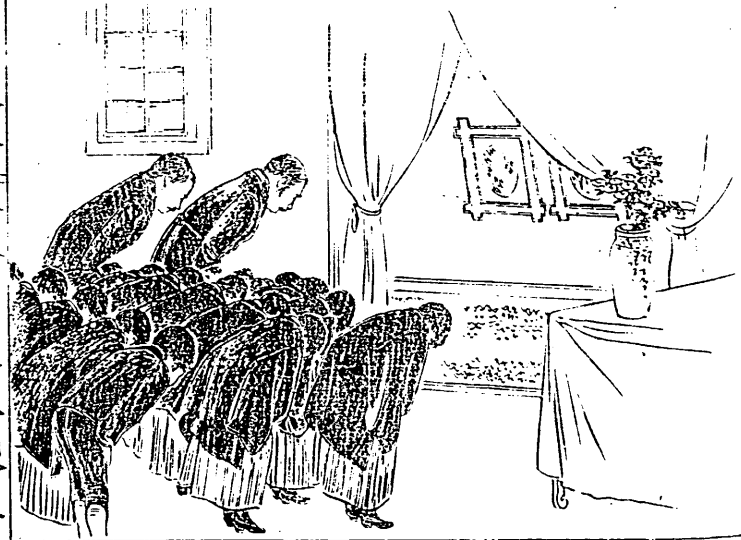
ちよにやちよに

さざれ石の

いはほとなりて

こけの

むすまで



十六 キク

キクノハナ

が大ツキキレイ

ニサキツロヒ

マシタ

兄サシツノ



白

白イノラ一リシトツテクダサイ

コノボーシニサシテマセウ

オヤクリップパナキクノキシヨ

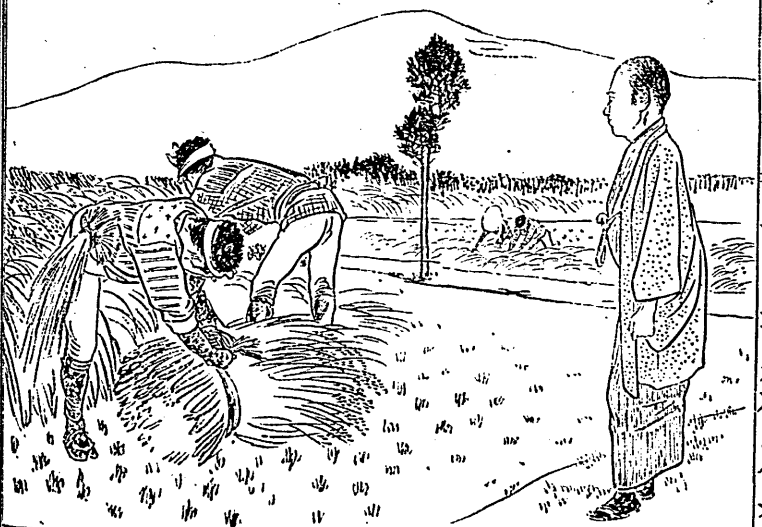
ガデキマシタ

十七 いねかり

田

田が一めんいきいりになつて

いねが十ぶん
みのりしました
あそこにも
ここにも 人
がげんきよく
いねをかって



ゐます

田のあぜにひとりの人が
にこくとしてながめてゐます
おこめがたくさんとれてうれしい
のでせう

十八 いけ

大 小

このいけはみづ

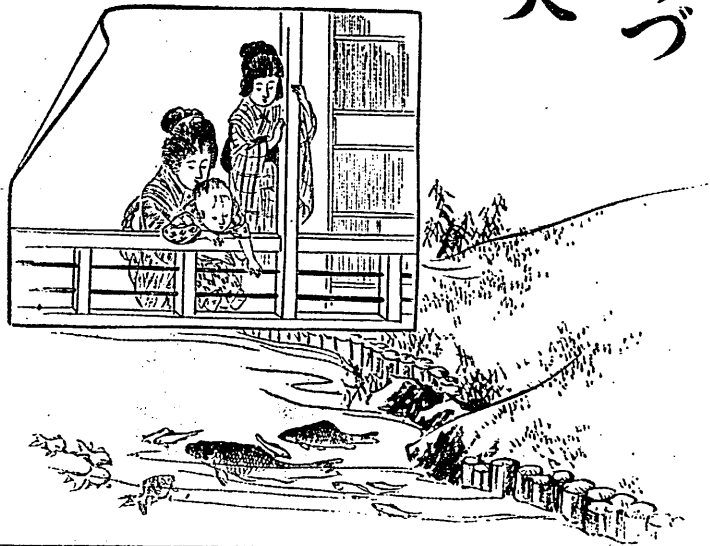
がよくすんで大

そーきれいで

あります

小さいうをや

大きいうをが



たくさんおよいでゐます

あれ石のあひだからきんぎょ

とこひとがうれしそーにでて

きました

いまにもいけにこぼりがはった

らばこのうをはどーするでせう

十九 ユキダルマ

兄サン ユキガチラクフリダ
 シマシタ
 タクサン ツモリ マシタ カラ
 オトモダチト ユキダルマヲツクツ
 テアソビマセウ

目

犬キナユキ
 ダルマガデキ
 マシタ
 目ガスヨシ
 小サクハアリ
 マセンカ



ココラニロヲツケテミマ
セウ

手

コレカラワタクシハ手ヲツケ
マス兄サンハアシヲツケテ
クダサイイヤクダルマニハ
手ヤアシハナイダラウ

二十 にんぎょー

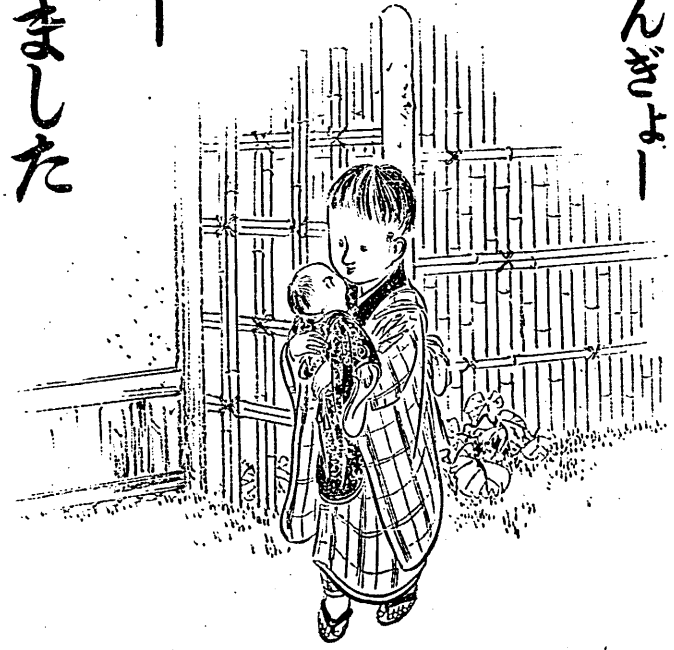
おたけは

かかさま

からうつく

しいにんぎょー

をいただきました



今
 おたまとなをつけて 大そー
 かはゆがって 大せつにしてゐます
 おたけは 今 うれしそーにお
 もりをしながら やさしいこゑで
 もりうたをうたつてゐます
 ねんくよー

ねんくよー
 おたまはよい子だ
 ねんねしな

二十一 アマノイハト

天。
 ダイジングーサマガ 天ノイハト
 カラオデカケ ナサレタレバゴヨー

ガサシマシタ
 大ジングー
 サマハ天子
 サマノゴセン
 ゾデアリ
 マス



カ入

イハヤノトヲカラ入レテアケ
 テキルノハタヂカラヲノミコト
 デアリマス

三十二 しよがつ

としのはじめ

かどにはかどまつ

のきにははた

うれしたのし

としのはじめ

をとこはたこあげ

をんなははねつき

たのしうれし

しよーがつか

きてみなくと

しを一つとり

ました

これから

まへよりもせい



本
だして本をよみじをおぼえ
なくてはなりませんまい

二十三 タコ

兄サシノタコノエトワタクシ
ノトクラベテミマセウ
ワタクシノホーガスコシ

ウツクシイデ
ハアリマセンカ
コノエノ人ハ
タレデアリマセウ
ソレハ
ヨシツネ



ユイ

トイフツヨイ 大シヨーデス
ワタクシドモモコノヨーナツ
ヨイ 大シヨーニナリマセウ
サーカゼガフイテキマシタコレ
カラ一シヨニコノタコヲアゲテ
アソビマセウ

二十四 うめ

あねさんちよとごらんたさい
うめのはながきれいにさき
そろひました
一本の木の はなは白く一本
の木のはなはあかくあります

白。 白いの白

ばいとひ

ましてかをり

がよくあります

あかいのは

こーばいとひ



ましていろがうつくしくあります

二十五 きげんせつ

今日はめでたき きげんせつ

上る あさ日に日のまるの

みはたをたてて きみがよは

千よに八千よと うたふなり

今日。 今日。 上。 千よ 八ふ

二十六 たはらとーだ

たはらとーだがゆみをひいて

山

山のむかでを

ねらつてゐま

す

むかではさ



らのよーな目でこちらをに

らんでゐます

たはらとーだ

のいたやが

ちよーどむかで

のあたまにあ



たりました

むかでの あたまからちがな
がれて川まで あかくなりまして

二十七 うぐひす

むかうのうめの木にかはゆ
らしいうぐひすがとまってるます

か
う

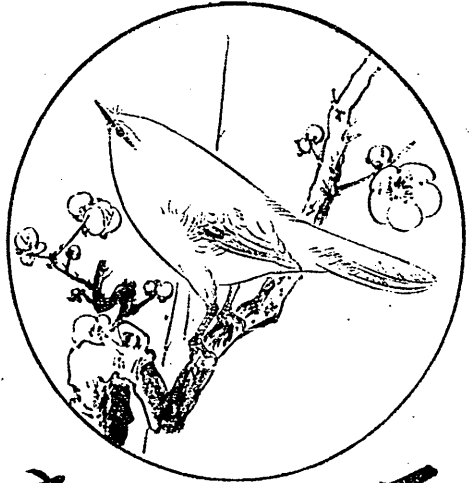
あのとりはどんなものをたべ

ていきてるますか

うぐひすは

くものよーな小

さいむしをたべ



ていきてるます

太

今こちらの太いえだへきて
ないてゐますなんとよいこゑ
ではありませんか

うめさくはるの

あけがたに

はやおきいでて

たちいでて

なくうぐひすの

こゑ きけば

ホーホケキヨ ホーホケキヨ

ケキヨ ケキヨ ケキヨ

ホーホケキヨ

明治三十四年六月十三日印
 明治三十四年七月二十三日發
 同三十四年七月二十七日發
 同三十四年七月二十七日發

常國語教科書
 定價
 甲種 卷一 金八錢
 乙種 卷一 金十錢
 卷二 金十一錢
 卷三 金十一錢
 卷四 金十一錢
 卷五 金十二錢
 卷六 金十二錢
 卷七 金十二錢
 卷八 金十三錢

著作權所有

著者 樋口勸次郎
 著作 野田龍三郎
 發行 金港堂書籍株式會社
 印刷 者
 代表 右社長 原亮一郎
 賣捌所 各府縣持約販賣所

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

◎弊社ハ常ニ書籍ノ用紙印刷製本等ニ注意シ勉メテ其ノ堅牢ヲ期セリサレド
 多數ノ中萬一學年間ノ使用ニ耐ヘザルガ如キ粗製ノモノアラバ御通知次第
 無代價ヲ以テ御引換申スベク候
 ◎本書ハ僻遠ノ地ニ至ルモ定價ヲ超過シテ賣捌カシムルコトナキハ勿論直接
 ノ御注文ハ多少ニ拘ラズ運賃ヲモ負擔仕ルベク候

尋常國語教科書

卷三

9
35

繪定合格本

K120.8
87a
4